

神島男子が3位 高校バスケット新人大会

県高校バスケットボール新人大会の決勝リーグが12、13の両日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク体育館であり、神島が男子の部で3位に入賞した。

決勝リーグには、紀南勢が

らは神島男子だけが進出した。4チームが該当たりで戦った。

神島は初戦の初芝橋本に54-95、2戦目の和歌山工業に

78-100と連敗したが、3戦目では開智に67-64で逆転勝ちした。1勝2敗だった。

神島の北川弘幸監督は「新チームになってから走るバスケットを目指して練習を続け、今大会で結果が出た。課題はシュートとディフェンス。全国大会出場を目標に、レベルアップしたい」と話した。

男子の部は初芝橋本が優勝、和歌山工業が準優勝。女子の部は信愛が優勝、海南が準優勝。この4チームが2月

にある近畿大会に県代表で出場する。

ベスト8のチームから優秀新人賞の選出があった。紀南関係では男子は神島の芦谷桜大君(1年)と田辺工業の楠本武君(1年)、女子は神島の福田希歩さん(1年)が選ばれた。



神島一開智。神島は終盤に得点を重ね、逆転した
(13日、田辺市で)